

# はじめに

2004年9月に開催した第17回研究集会の記録をお届けいたします。今回の研究集会は少し変則的な形で実施いたしました。

同年9月25～26日の2日間にわたって、広島大学東千田キャンパスにおいて環境経済・政策学会2004年大会が開催されました。戸田常一センター次長（以下同様、当時の所属）が同学会理事でもあることから、当センターは大会事務局を引き受けました。同大会2日目に公開シンポジウム「環境再生と地域マネジメント」がありましたが、当センターは地域経済研究推進協議会とともに、その開催・運営の支援にあたりました。便宜上、この公開シンポジウムを研究集会の一環として位置づけております。

通常の研究集会は、翌9月27日に開催いたしました。前半は「地域再生とシンクタンク」というテーマで、中国・四国地方のシンクタンク関係者から例年を上回る10件の報告がありました。若井具宜教授（広島県立大学）、宍戸栄徳教授（香川大学）、瀧敦弘教授（広島大学）といったセンター研究員・客員研究員を討論者にお迎えして、活発な議論が展開されました。この報告書に掲載している論文は、当日の議論をふまえて加筆・修整されたものです。

後半は「地方都市の都心再生」というテーマで、研究者、都市計画プランナー、広島市関係者らによる討論会を開催しました。その記録を掲載しています。討論を文章にしたものですので、おのずから限界がありますが、当日の白熱した議論の一端を少しでもお伝えすることができればと思います。

なお、今回は前半と後半のあいだにシンクタンク・セッションとして特別の時間を設定しました。財団法人とくしま地域政策研究所の吉崎住夫常務理事に「地方分権とシンクタンクがとらえる地方分権とは何か」というテーマで話題提供をしていただいたあと、社団法人中国地方総合研究センターの宮本茂企画部長の司会により参加者で議論をおこないました。今後ともこういった機会を充実したいと思います（この議論の結果は、都合により掲載しておりません）。

終わりにになりましたが、研究集会の共催にご協力いただいている地域経済研究推進協議会、中国・四国地方のシンクタンク関係者の方々に、あらためてお礼申し上げます。

2005年春

広島大学大学院社会科学研究所  
附属地域経済システム研究センター  
センター長 伊藤敏安